

# DisplayPort対応パソコン自動切替器 取扱説明書



この度は、DisplayPort対応パソコン自動切替器「SW-KVM2HDPU」、「SW-KVM4HDPU」(以下本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

## 最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。  
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

### セット内容(SW-KVM2HDPU)

- ①切替器 ..... 1台
- ②電源アダプタ ..... 1個
- ③電源コード ..... 1本
- ④パソコン接続ケーブルセット ..... 2セット  
(DisplayPortケーブル、USB3.1(3.0)ケーブル、オーディオケーブル、マイクケーブル)
- ⑤取扱説明書・保証書(本書) ..... 1部

※欠品や破損があった場合は、品番(SW-KVM2HDPU)と上記の番号(①～⑤)と名称(電源アダプタなど)をお知らせください。

### セット内容(SW-KVM4HDPU)

- ①切替器 ..... 1台
- ②電源アダプタ ..... 1個
- ③電源コード ..... 1本
- ④パソコン接続ケーブルセット ..... 4セット  
(DisplayPortケーブル、USB3.1(3.0)ケーブル、オーディオケーブル、マイクケーブル)
- ⑤取扱説明書・保証書(本書) ..... 1部

※欠品や破損があった場合は、品番(SW-KVM4HDPU)と上記の番号(①～⑤)と名称(電源アダプタなど)をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。  
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## 目次

■安全にお使いいただくためのご注意	3
・注意	3
・お手入れについて	3
■取扱い上のご注意	3
1.本書について	4
2.本書の表記について	4
3.特長	4
4.必要なハードウェア環境	5
・対応パソコン	5
・対応OS	5
5.各部の名称とはたらき	6
・フロントパネル	6
・バックパネル	7
6.本製品の使用方法	8
・接続する前に	8
・接続例	9
・ポート番号の割当て	10
・ホットプラグ	10
・終了と再起動	10
7.基本操作	10
・ボタン切替え	10
8.ホットキー操作	11
・ホットキーによるポートアクセス	11
・ホットキーモードの起動	11
・ホットキーによる切替え操作	11
・ポートのダイレクト切替え一覧表	11
・オートスキャン	12
9.ホットキーセッティングモード	12
・ホットキーセッティングモードを有効にするホットキーを変更する	12
・ポート切替えのホットキーを変更する	13
・使用キーボードを変更する	13
・ホットキーの設定を確認する	13
・USBをリセットする	13
・ポート切替え時のブープ音を止める	14
・ポート切替えホットキーを無効にする	14
・ホットキーの設定をデフォルトに戻す	14
・手動ポート選択機能を変更する	15
・キーボードとマウスをリセットする	15
・ホットキーセッティングモード一覧	16

10. Macキーボードエミュレーション	17
11. 仕様	18
12. トラブルシューティング	19
13. 保証規定・保証書	

## 安全にお使いいただくためのご注意 (必ずお守りください)

■注意：下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えることがあります。

- 取付け・取外しの時は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
- 次のような場所では使用しないでください。
  - (1) 直射日光の当たる場所
  - (2) 湿気や水分のある場所
  - (3) 傾斜のある不安定な場所
  - (4) 静電気の発生する場所
  - (5) 通常の生活環境とは大きく異なる場所
- 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)

■お手入れについて

- (1) 清掃するときは電源を必ずお切りください。
- (2) 機器は柔らかい布で拭いてください。
- (3) シンナー・ベンジン・ワックスなどは使わないでください。

## 取扱い上のご注意

本製品を使用してパソコンを切替えて使用する際は、万ーに備えてデータのバックアップをこまめに行うことをお勧めします。(切替え時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜けなど)

## 1. 本書について

この取扱説明書では**SW-KVM2HDPU・4HDPU**の取付けや接続方法、操作方法について説明しています。本書の構成については下記をご覧ください。

- はじめに …… 本製品の特長や機能の紹介、またフロント・バックパネルについて説明します。
- 導入 …… 本製品の接続や設定方法などについて説明します。
- ホットキー操作 …… 本製品のホットキー操作について説明します。
- 付録 …… 本製品についての技術情報およびその他の重要事項についてまとめてあります。

## 2. 本書の表記について

[ ]	入力するキーを示します。例えば【Enter】はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、【Num Lock】+【-】のように「+」を表記してあります。同時ではなく順番に押す場合は、【K】→【Enter】のように「→」を表記してあります。
(1)	番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。
●	●印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。
!	注意していただきたいことを記載しています。

本書では、以下の表記を使用します。

KVM	キーボード・マウス・ディスプレイのこと
オーディオ	スピーカー・マイクのこと
USBハブ	フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

## 3. 特長

- 1組のキーボード・マウス・ディスプレイで複数のパソコンを切替え可能
- 最大解像度4K2K対応  
DisplayPortディスプレイは最大解像度4K 3840×2160(60Hz、4:4:4)、4K 4096×2160(60Hz、4:4:4)に対応しています。1920×1200(WUXGA)、1920×1080(フルHD)に対応し、ワイド画面出力にも対応します。
- HDCP対応  
HDCP対応だから地デジやブルーレイメディアの著作権保護規制がかかった映像も再生できます。
- USB3.1(3.0)ハブを2ポート搭載  
USB3.1(3.0)ハブを2ポート搭載しており、USBプリンターなど各種USBデバイスを複数台のパソコンで切替えて共有することができます。さらに単独切替も可能なので別のパソコンでUSB機器を動作させながら他のパソコンで作業をする、ということも可能です。

●**スピーカー、マイクの共有可能**

スピーカー、マイクの共有も可能。単独切替えにも対応しておりコンソールデバイスとスピーカー・マイクは別々に切替えができます。パソコンで作業中に別のパソコンから音楽を流す、作業状況を音声で確認することが可能です。

●**フロントパネルにスピーカー・マイクポートを搭載**

フロントパネルにもスピーカー・マイクポートを搭載。手軽に接続・取外しができるのでSkypeなどIP電話の利用時に便利です。

●**KVM、USB3.1(3.0)ハブ、オーディオの独立切替可能**

●**キーボードエミュレーション機能搭載**

キーボードポートをエミュレーションしているため、再起動(リブート)時にポートを切替えなくても完全起動が可能です。

●**ホットキー、本体切替ボタン、2通りの切替方法に対応**

●**マウス・キーボードのみの接続も可能**

マウス・キーボードのみの接続も可能です。(DisplayPortディスプレイはパソコンへ直結して使用)

●**ソフトウェアのインストール不要**

ソフトウェアのインストール不要で、接続するだけで全ての機能を使用することができます。

●**オートスキャン機能搭載**

全てのパソコンをモニタリング可能なオートスキャン機能搭載。

**4.必要なハードウェア環境**

■**対応パソコン**

Windows搭載(DOS/V)パソコン、Apple Macシリーズ  
※USB Aコネクタ メス、DisplayPort出力を持つ機種

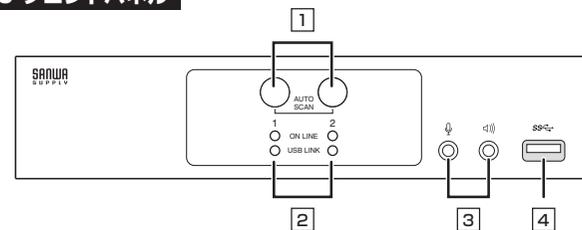
■**対応OS**

Windows 10・8.1・8・7・Vista・XP(32/64bit,各Edition対応)  
Windows Server 2016・2012(R2)・2008(R2)・2003(R2)  
macOS 10.12~10.15、Mac OS X 10.6~10.11  
Linux(CentOS、uBuntu、OpenSUSE)

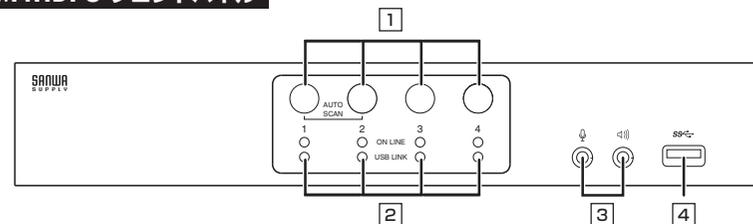
! キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバーを要する機能についても本製品経由では使用することができません。

**5.各部の名称とはたらき**

**SW-KVM2HDPU フロントパネル**

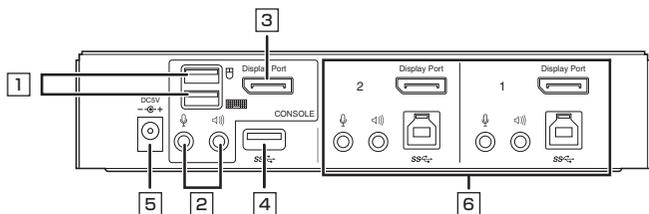


**SW-KVM4HDPU フロントパネル**

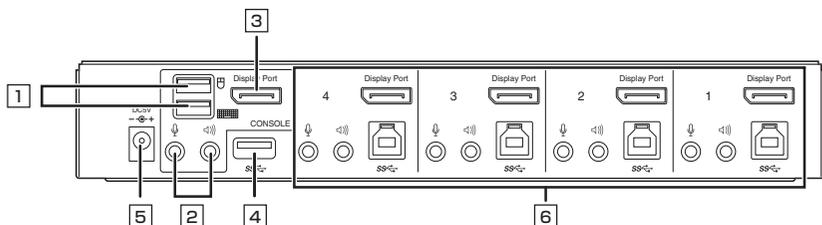


<p>1 切替ボタン</p>	<p>1回押すと、KVMのみを選択したポートに切替えます。 2回押すと、アナログオーディオのみを選択したポートに切替えます。 3回押すと、USBハブのみを選択したポートに切替えます。 2秒以上長押しすると、KVM・USBハブ・オーディオすべてを選択したポートに切替えます。 切替ボタン1と2を同時に2秒以上長押しすると、オートスキャンを開始します。</p>				
<p>2 LED</p>	<p>上段がKVMポートLED、下段がUSB LEDです。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1413 1007 1469 1246">KVM</td> <td data-bbox="1469 1007 2163 1246"> <p>点灯時(暗いオレンジ色) ▶ポートに接続されたパソコンの電源が入っています。 点灯時(明るいオレンジ色) ▶対応ポートがKVMコントロールで選択されています。 点滅時 ▶対応ポートがオートスキャンモードでアクセスされています。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1413 1246 1469 1358">USB</td> <td data-bbox="1469 1246 2163 1358"> <p>点灯時 ▶対応ポートにUSBハブが接続されています。</p> </td> </tr> </table>	KVM	<p>点灯時(暗いオレンジ色) ▶ポートに接続されたパソコンの電源が入っています。 点灯時(明るいオレンジ色) ▶対応ポートがKVMコントロールで選択されています。 点滅時 ▶対応ポートがオートスキャンモードでアクセスされています。</p>	USB	<p>点灯時 ▶対応ポートにUSBハブが接続されています。</p>
KVM	<p>点灯時(暗いオレンジ色) ▶ポートに接続されたパソコンの電源が入っています。 点灯時(明るいオレンジ色) ▶対応ポートがKVMコントロールで選択されています。 点滅時 ▶対応ポートがオートスキャンモードでアクセスされています。</p>				
USB	<p>点灯時 ▶対応ポートにUSBハブが接続されています。</p>				
<p>3 コンソールオーディオポート</p>	<p>コンソールで使用するマイクとスピーカーを接続します。</p>				
<p>4 USB3.1(3.0)ハブポート</p>	<p>USB3.1(3.0)対応の周辺機器(HDD・プリンターなど)を接続します。</p>				

## SW-KVM2HDPU バックパネル



## SW-KVM4HDPU バックパネル



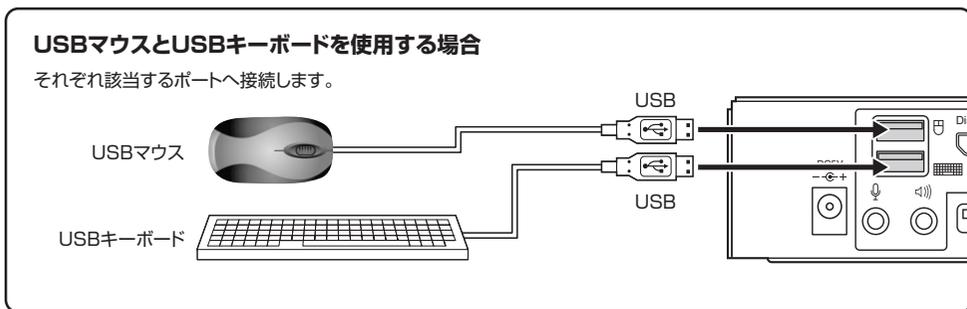
1	コンソール マウス・キーボードポート	マウス・キーボードを接続します。
2	コンソール オーディオポート	マイク・スピーカーを接続します。
3	コンソール DisplayPortポート	DisplayPortケーブルを使用し、ディスプレイを接続します。
4	USB3.1 (3.0) ハブポート	USB3.1 (3.0)対応の周辺機器 (HDD・プリンターなど)を接続します。
5	電源ジャック	付属の電源アダプタを接続します。
6	パソコンポート	付属の接続ケーブルを使用し、パソコンを接続します。 各ポートは、マイクジャック・スピーカージャック・USB3.1 (3.0)Bコネクタ・DisplayPortコネクタで構成されています。

## 6.本製品の使用方法

### ■接続する前に

- ❗ (1)接続するパソコンや周辺機器など、すべての電源がOFFになっていることを確認してください。キーボード起動機能があるパソコンは、電源ケーブルも抜いてください。
- (2)パソコンや周辺機器へのダメージを避けるため、接続されているすべての周辺機器が正しくアース接続されていることを確認してください。
- (3)以下の手順に従って作業を行ってください。

(1)キーボードとマウスを、本製品バックパネルのコンソールマウス・キーボードポートに接続します。



(2)DisplayPortケーブル(別売り)を使用し、ディスプレイを本製品バックパネルのコンソールDisplayPortポートに接続します。

(3)メインで使用するマイクとスピーカーは、本製品フロントパネルのコンソールポート(オーディオ)に接続します。  
※フロントパネルに接続したマイクとスピーカーは、バックパネルに接続したものよりも優先されます。

(4)パソコンポートのDisplayPortポートにDisplayPortケーブルを接続してください。  
付随しているマイク・スピーカーのコネクタも、それぞれ同じグループのマイク・スピーカージャックに接続します。



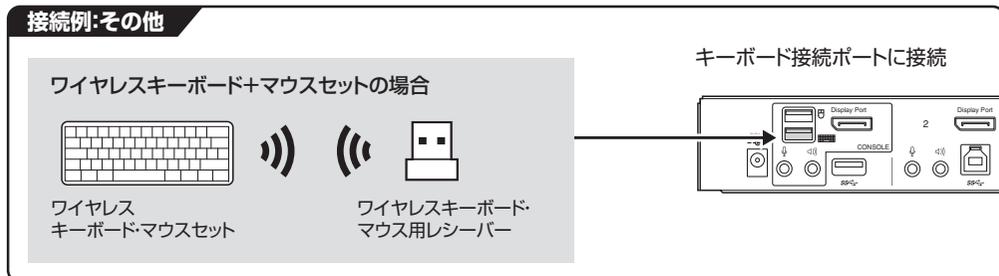
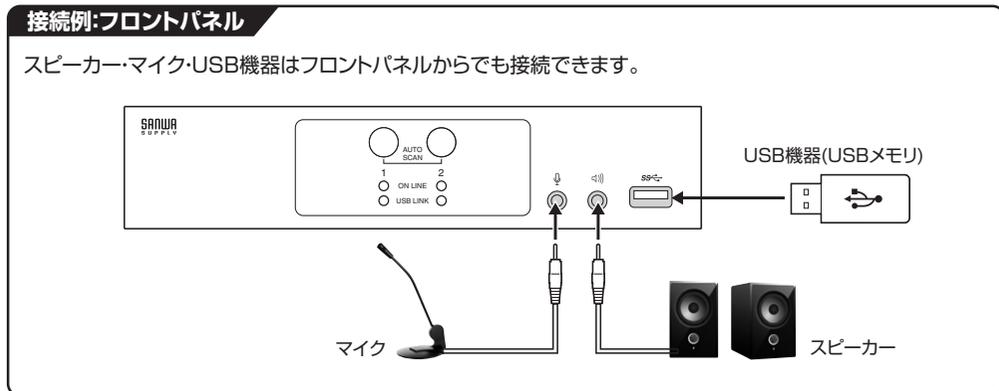
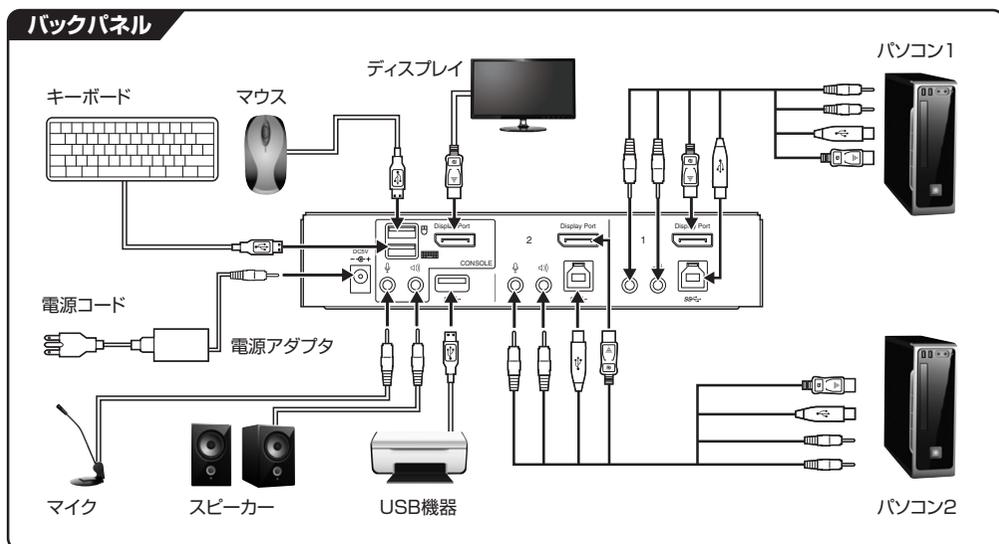
(5)ケーブルのもう一端は右図(P.9)のように接続します。

(6)付属の電源アダプタと電源コードを使用し、本製品の電源ジャックとコンセントを接続します。

(7)USB機器は本製品フロントおよびバックパネルのUSBハブポートに接続します。

(8)パソコンの電源をONにします。

■接続例 …… 図はSW-KVM2HDPUの接続例です。パソコンを2台まで接続・制御できます。



## 6.本製品の使用方法(続き)

■ポート番号の割当て  
本製品の各ポートには、ポート番号が割当てられています。ポート番号はバックパネルのパソコンのポートに明記されています。

パソコンのポートのポートIDは、そのパソコンを接続したポート番号に対応します。例えば、ポート2に接続されたパソコンのポートIDは2になります。

ポートIDは、KVM・USB・オーディオのコントロールをホットキーによって切替える時に使用します。

■ホットプラグ  
本製品はUSBホットプラグに対応しています。本製品に接続された機器は、電源を入れたままUSBポートに接続・取外しができます。

■終了と再起動  
本製品の電源を切ったり再起動する場合は、以下の手順に従ってください。  
 (1)本製品の電源をOFFにします。  
 (2)本製品バックパネルからKVM(キーボード・マウス・ディスプレイ)ケーブルを取外します。  
 (3)本製品から電源アダプタ・電源ケーブルを取外します。  
 (4)10秒経過してから、KVMケーブルを再び接続します。  
 (5)本製品に電源アダプタ・電源ケーブルを再び接続します。

## 7.基本操作

本書では、以下の表記を使用します。

KVM	……………	キーボード・マウス・ディスプレイのこと
オーディオ	……………	スピーカー・マイクのこと
USBハブ	……………	フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

■ボタン切替え  
切替器前面の切替ボタンを押して切替えてください。

- 切替ボタンを1回押してすぐに離します。  
→KVMのみを選択したポートに切替えます。オーディオ・USBハブは切替わりません。
- 切替ボタンを2回押します。  
→オーディオのみを選択したポートに切替えます。
- 切替ボタンを3回押します。  
→USBハブのみを選択したポートに切替えます。
- 切替ボタンを2秒以上長押しします。  
→KVM・オーディオ・USBハブのすべてを、選択したポートに切替えます。
- 切替ボタン1と2を同時に2秒以上長押しします。  
→オートスキャンを開始します。

## 8.ホットキー操作

### ■ホットキーによるポートアクセス

ホットキーによって、キーボードからのコマンド入力で切替器を操作できます。

### ■ホットキーモードの起動

ホットキーによる全ての操作は、まずHKM(ホットキーモード)を起動してから行います。  
ホットキーモードは、**[Scr Lock]** キーを2回連続で押すと起動します。

### ■ホットキーによる切替え操作

ホットキーモードになると、**[Scr Lock]** と **[Caps Lock]** のLEDが交互に点滅します。  
この状態で「コマンド」キーを入力し、**[Enter]** キーを押します。  
以上で「コマンド」キーに対応した切替え操作を行うことができます。

### ■ポートのダイレクト切替え一覧表

ホットキー	機能
<b>[Scr Lock][Scr Lock][Enter]</b>	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを次のポートに切替えます。 <b>SW-KVM2HDP</b> U : ポート1→ポート2 または ポート2→ポート1 ※1 <b>SW-KVM4HDP</b> U : ポート1→ポート2→ポート3→ポート4→ポート1
<b>[Scr Lock][Scr Lock][K][Enter]</b>	KVMコントロールのみを次のポートに切替えます。 USBハブおよびオーディオは現在のポートのままです。
<b>[Scr Lock][Scr Lock][U][Enter]</b>	USBハブのみを次のポートに切替えます。 KVMコントロールおよびオーディオは現在のポートのままです。
<b>[Scr Lock][Scr Lock][S][Enter]</b>	オーディオのみを次のポートに切替えます。 KVMコントロールおよびUSBハブは現在のポートのままです。
<b>[Scr Lock][Scr Lock][n][Enter]</b>	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを選択したポートに切替えます※1
<b>[Scr Lock][Scr Lock][n][K][Enter]</b>	KVMコントロールのみを選択したポートに切替えます。 USBハブおよびオーディオは現在のポートのままです。
<b>[Scr Lock][Scr Lock][n][U][Enter]</b>	USBハブのみを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールおよびオーディオは現在のポートのままです。
<b>[Scr Lock][Scr Lock][n][S][Enter]</b>	オーディオのみを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールおよびUSBハブは現在のポートのままです。
<b>[Scr Lock][Scr Lock][n][K][U][Enter]</b>	KVMコントロールおよびUSBハブを選択したポートに切替えます。 オーディオは現在のポートのままです。
<b>[Scr Lock][Scr Lock][n][K][S][Enter]</b>	KVMコントロールおよびオーディオを選択したポートに切替えます。 USBハブは現在のポートのままです。
<b>[Scr Lock][Scr Lock][n][U][S][Enter]</b>	USBハブおよびオーディオを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールは現在のポートのままです。

※表中の[n]は、パソコンのポートID(1~4)を表しています。実際の操作時は、切替え対象となるポートIDを入力してください。

※1 KVM・USBハブ・オーディオがそれぞれ別のポートを選択していても、このホットキーによってすべて同じ選択ポートに切替えられます。

## 8.ホットキー操作(続き)

### ■オートスキャン

一定の間隔で自動的にKVMコントロールを切替えることができます。この機能によって、スイッチを毎回手動で操作することなく、KVMに接続されたすべてのパソコンの状態をモニタリングできます。ホットキー操作については下表をご覧ください。

ホットキー	機能
<b>[Scr Lock][Scr Lock][A][Enter]</b>	オートスキャンモードを有効にします。 KVMコントロールが5秒間隔で切替わります。
<b>[Scr Lock][Scr Lock][A][n][Enter]</b>	オートスキャンモードを有効にします。 KVMコントロールが指定した間隔(n=1~99秒)で切替わります。

- オートスキャン有効時、オートスキャンで使用する操作以外のキーボード入力は無効になります。
- オートスキャン時、ディスプレイの表示内容がポートごとに切替わりますが、キーボード・マウス・USBハブは切替わらず、オートスキャン開始時に選択されていたポートのままです。
- オートスキャンモードを終了するには、**[Esc]** または **[スペース]** キーを押してください。

## 9.ホットキーセッティングモード

ホットキー(キーを押す組合せ)によって本製品をキーボードから直接コントロールできますが、そのホットキーを変更(カスタマイズ)することもできます。ホットキーをカスタマイズするには、すべてホットキーセッティングモードを有効にしてから行います。ホットキーセッティングモードは次の手順で有効にします。

- (1) **[Num Lock]** キーを押したまま、
  - (2) **[−]** (マイナス) キーを押し、すぐに離します。
  - (3) **[Num Lock]** キーを離します。
- 以下、この動作を **[Num Lock] + [−]** と表記します。

ホットキーセッティングモードが有効になると、

- **[Caps Lock]** と **[Scr Lock]** のLEDが交互に点滅します。
- 通常のキーボードおよびマウス機能は無効になり、ホットキー対応のキーストロークだけが有効となります。
- **[Esc]** キーを押すと、ホットキーセッティングモードを終了します。

以下、いろいろなカスタマイズをご紹介します。

### ■ホットキーセッティングモードを有効にするホットキーを変更する

ホットキーセッティングモードを有効にするデフォルトの操作キーは **[Num Lock] + [−]** ですが、この組合せがパソコンで起動中のアプリケーションのものと競合する場合があります。

これを避けるため、**[Ctrl] + [F12]** という操作に変更することができます。

ホットキー	機能
<b>[Num Lock]+[−]→[H]</b>	ホットキーセッティングモード起動キーストロークを循環式に変更する。 [Num Lock]+[−] ▶ [Ctrl]+[F12] ▶ [Num Lock]+[−] ……

このホットキーを再度押すと、デフォルトの **[Num Lock] + [−]** に戻ります。

### ■ポート切替えのホットキーを変更する

ポート切替えに使用するデフォルトの操作キーは【Scr Lock】の2度押しですが、この組合せがパソコンで起動中のアプリケーションのものと競合する場合があります。これを避けるため、【Ctrl】の2度押しに変更することができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[T]	ポート切替えに使用するキーを循環式に変更します。 [Scr Lock] [Scr Lock] ▶ [Ctrl] [Ctrl] ▶ [Scr Lock] [Scr Lock] ……

このホットキーを再度押すと、デフォルトの【Scr Lock】2度押しに戻ります。

### ■使用キーボードを変更する

本製品のパソコンのポートはデフォルトでパソコン(Windows、Linuxなど)向けに設定されており、コンソールとして使用するキーボードもPC/AT互換キーボードを想定しています。Macを接続した場合でも、PC/AT互換キーボードでMacの特殊キー操作が行えるよう設定できます。また、Mac用キーボードを接続して使用することもできます。以下の設定をする場合、まずキーボード設定を行いたいポートを選択しておきます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします。 PC/AT互換キーボードで、Macの特殊キー操作ができます。
[Num Lock]+[-]→[F10]	Mac用キーボードを使用する場合は、こちらを選択します。

### ■ホットキーの設定を確認する

現在のホットキー設定を確認することができます。

- (1)テキストエディタ、メモ帳を開きます。
- (2)ホットキーセッティングモードを有効にします。
- (3)【F4】キーを入力します。
- (4)クリップボードに現在のホットキー設定情報がコピーされます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F4]	現在のホットキー設定情報をクリップボードにコピーします。

### ■USBをリセットする

USB機器がコントロールできなくなったときは、以下の操作でリセットできます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F5]	USB機器をリセットします。

## 9.ホットキーセッティングモード(続き)

### ■ポート切替え時のビープ音を止める

ポート切替え時、デフォルトではビープ音が鳴りますが、これを止めることができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[B]	ポート切替え時のビープ音を鳴らす、または止めます。 循環式に変更します。

このホットキーを再度押すと、ビープ音を鳴らす設定に戻ります。

### ■ポート切替えホットキーを無効にする

ポート切替えに使用するデフォルトの操作キーは【Scr Lock】の2度押しですが、これを無効にすることができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[X]→[Enter]	ポート切替えに使用する【Scr Lock】の2度押しを無効にします。 循環式に変更します。

このホットキーを再度押すと、ポート切替えホットキーが有効になります。

### ■ホットキーの設定をデフォルトに戻す

ホットキーの設定をすべてデフォルト(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[R]→[Enter]	ホットキーの設定をすべてデフォルト(工場出荷時の状態)に戻します。

## ■手動ポート選択機能を変更する

切替ボタンを押したときの動作を、代替設定に変更することができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[S]	フロントパネルの切替ボタンを押したときの動作を代替設定に変更します。再度押すとデフォルトの設定に戻る、循環式のホットキーです。

### 【代替設定の動作】

- 切替ボタンを1回押すと、KVM・USBハブ・オーディオすべてを選択したポートに切替えます。
- 切替ボタンを2回押すと、オーディオのみを選択したポートに切替えます。
- 切替ボタンを3回押すと、USBハブのみを選択したポートに切替えます。
- 切替ボタンを2秒以上長押しすると、KVMのみを選択したポートに切替えます。
- 切替ボタン1と2を2秒以上長押しすると、オートスキャンを開始します。  
※デフォルトの動作はP.6「各部の名称とはたらき」をご覧ください。

## ■キーボードとマウスをリセットする

USB3.1(3.0)に対応していないOSが起動しているパソコンを接続すると、キーボードやマウスが反応しなくなる場合があります。このような場合は、キーボードとマウスをリセットしてください。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F1]	キーボードとマウスをリセットします。

## 9.ホットキーセッティングモード(続き)

### ■ホットキーセッティングモード一覧

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[H]	ホットキーセッティングモード起動キーストロークを循環式に変更します。 [Num Lock]+[-] ▶ [Ctrl]+[F12] ▶ [Num Lock]+[-] ……
[Num Lock]+[-]→[T]	ポート切替えに使用するキーを循環式に変更します。 [Scr Lock][Scr Lock] ▶ [Ctrl][Ctrl] ▶ [Scr Lock][Scr Lock] ……
[Num Lock]+[-]→[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします。 PC/AT互換キーボードで、Macの特殊キー操作ができます。
[Num Lock]+[-]→[F10]	Mac用キーボードを使用する場合は、このホットキーを押してください。
[Num Lock]+[-]→[F4]	現在のホットキー設定情報をクリップボードにコピーします。
[Num Lock]+[-]→[F5]	USB機器をリセットします。
[Num Lock]+[-]→[B]	ポート切替え時のピープ音を鳴らす、または止めます。 循環式に変更します。
[Num Lock]+[-]→[X]→[Enter]	ポート切替えに使用する[Scr Lock]の2度押しを無効にします。 または有効にします。循環式に変更します。
[Num Lock]+[-]→[R]→[Enter]	ホットキーの設定をすべてデフォルト(工場出荷時の状態)に戻します。
[Num Lock]+[-]→[S]	フロントパネルの切替ボタンを押したときの動作を代替設定に変更します。 再度押すとデフォルトの設定に戻る、循環式のホットキーです。
[Num Lock]+[-]→[F1]	キーボードとマウスをリセットします。

## 10. Macキーボードエミュレーション

コンソールがPC互換キーボード(101/104キー)でも、エミュレーション機能によりMacキーボードの特殊キーを入力できます。対応は下記の表を参照してください。

PC互換キーボード	Macキーボード
[Shift]	shift
[Ctrl]	control
	
[Ctrl] [1] ※	
[Ctrl] [2] ※	
[Ctrl] [3] ※	
[Ctrl] [4] ※	
[Alt]	alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	
[Enter]	return
[Backspace]	delete
[Ctrl] 	F15

※ [Ctrl] キーを押してすぐに離し、その後フルキー側の数字キー [1] ~ [4] を押し離してください。

## 11.仕様

品番	SW-KVM2HDPU	SW-KVM4HDPU
対応パソコン	Windows搭載(DOS/V)パソコン、Apple Macシリーズ (USB Aコネクタメス、DisplayPort出力を持つ機種※1)	
対応キーボード	USBキーボード ※1・2・3・4	
対応マウス	USBマウス ※3	
対応ディスプレイ	DisplayPort入力端子を標準搭載しているテレビ/パソコン用ディスプレイ	
最大解像度	4K2K(4096×2160)	
対応解像度	4096×2160 60Hz(4:4:4)、4096×2160 60Hz (4:2:0) 3840×2160 60Hz (4:4:4)、3840×2160 60Hz (4:2:0) 1920×1200 60Hz、1920×1080 60Hz	
対応スピーカー・マイク	3.5mmステレオミニプラグ対応スピーカー・マイク ※音声出力設定をDisplayPort Audioにしている場合はアナログ音声出力はできません。 別途設定変更が必要です。	
対応OS	Windows 10・8.1・8・7・Vista・XP(32/64bit、各Edition対応) Windows Server 2016・2012(R2)・Windows Server 2008(R2)・Windows Server 2003(R2) macOS 10.12~10.15、Mac OS X 10.6~10.11以降 Linux(CentOS、uBuntu、OpenSUSE)	
インターフェース	<b>&lt;パソコン用&gt;</b> ディスプレイ:DisplayPort(タイプA)メス×2 キーボード・マウス:USB3.1(3.0)ハブ: USB3.1(3.0) Bコネクタメス×2 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 マイク:3.5mmステレオミニジャック×2 <b>&lt;コンソール用&gt;</b> ディスプレイ:DisplayPort(タイプA)メス×1 キーボード:USB Aコネクタメス×1 マウス:USB Aコネクタメス×1 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 マイク:3.5mmステレオミニジャック×2 USB3.1(3.0)ハブ:USB Aコネクタメス×2	<b>&lt;パソコン用&gt;</b> ディスプレイ:DisplayPort(タイプA)メス×4 キーボード・マウス:USB3.1(3.0)ハブ: USB3.1(3.0) Bコネクタメス×4 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×4 マイク:3.5mmステレオミニジャック×4 <b>&lt;コンソール用&gt;</b> ディスプレイ:DisplayPort(タイプA)メス×1 キーボード:USB Aコネクタメス×1 マウス:USB Aコネクタメス×1 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 マイク:3.5mmステレオミニジャック×2 USB3.1(3.0)ハブ:USB Aコネクタメス×2
切替方式	本体ボタン切替、ホットキー切替、オートスキャン切替	
切替音	ビーブ音 ON/OFF設定可能	
電源	ACアダプタ(DC5V 4A)	
消費電流	最大0.23A	最大0.46A
動作時温度・湿度	0~50℃ 湿度80%以下(結露なきこと)	
保管時温度・湿度	-20℃~60℃ 湿度80%以下(結露なきこと)	
サイズ	W200×D74.7×H42.9mm	W260.3×D74.7×H42.9mm
付属品	DisplayPortケーブル(1.5m)×2、 USB3.1(3.0)ケーブル(1.8m)×2、 オーディオケーブル(1.8m)×2、 マイクケーブル(1.8m)×2、 電源アダプタ×1、電源コード×1、 取扱説明書・保証書	DisplayPortケーブル(1.5m)×4、 USB3.1(3.0)ケーブル(1.8m)×4、 オーディオケーブル(1.8m)×4、 マイクケーブル(1.8m)×4、 電源アダプタ×1、電源コード×1、 取扱説明書・保証書

- ※1 キーボードに搭載されているUSBハブポートは本製品経由では使用することはできません。  
キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバーを要する機能についても本製品経由では使用することができません。
- ※2 指紋認証機能付キーボード、トラックパッド付キーボードなどでは動作しないことがあります。
- ※3 Bluetoothキーボード/Bluetoothマウスには非対応です。
- ※4 ゲーミングキーボードなどのNキーロールオーバー機能を搭載したキーボードは動作対応しません。

## 12.トラブルシューティング

### SW-KVM2HDPU・4HDPU トラブルシューティング

- Q)** MacとWindowsの混在環境でコンソールにMac用キーボードを使用したい。  
**A)** 取扱説明書P.13の「使用キーボードを変更する」を参照してください。
- Q)** 特殊なドライバーを要するマウスをコンソールで使用すると一部の機能が動作しない。  
**A)** 本製品はデフォルトでマウスエミュレーションが有効になっており、特殊なドライバーなどをエミュレートすることができません。取扱説明書P.15をご参照の上、マウスエミュレーション機能を無効にしてください。
- Q)** ワイヤレスキーボードマウスセットを使用したい。  
**A)** USBレシーバーを切替器バックパネルの「キーボード接続ポート」に接続して使用ください。
- Q)** USBデバイスが認識しない。  
**A)** スキャナーや複合機プリンターなど一部の機種では機器の認識がしにくい場合があります。USBケーブル長を短くしてお試しください。
- Q)** ディスプレイはパソコンに直接接続した状態でキーボード・マウスのみを切替えたい。  
**A)** 可能です。ディスプレイは直接パソコンに接続した状態でキーボード・マウスのみ切替器としてもご利用可能です。

### 免 責

- 本製品の使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。
- 本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光のあたる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり保管したりしないでください。

## 13.保証規定

- 1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。取扱説明書、本体ラベル、表示等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合、弊社所定の方法で交換いたします。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - (1)保証書をご提示いただけない場合。
  - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
  - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
  - (6)譲渡や中古販売、オークション、転売などご購入された場合。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

保 証 書		サンワサプライ株式会社
型番: <input type="checkbox"/> SW-KVM2HDPU <input type="checkbox"/> SW-KVM4HDPU	シリアルナンバー:	
お客様・お名前・ご住所・TEL 販売店名・住所・TEL		
担当者名	保証期間 1年	お買い上げ年月日 年 月 日

最新の情報はWEBサイトで <https://www.sanwa.co.jp/>



### 本製品の詳細情報はこちら!

スマホでQRコードを読み込むだけで簡単にアクセス!



### 弊社サポートページはこちら!

■サポート情報 ■Q&A(よくある質問)  
■ソフトダウンロード ■各種対応表  
など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

## サンワサプライ株式会社

ver.1.0

岡山サブライセンター/〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-1-0-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123  
東京サブライセンター/〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033  
札幌営業所/〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990  
仙台営業所/〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-37TM仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633  
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区樽町16-7カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033  
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315  
福岡営業所/〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3博多八百治ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

BJ/BA/YHdaAt